

あいめーる

WINTER

愛隣館通信

令和4年1月25日発行
発行
社会福祉法人 愛隣園
障害者支援施設 愛隣館
発行責任者 三浦貴子
編集 広報チーム
キャリアビジョン

〒861-0551
熊本県山鹿市津留 2022
TEL 0968-43-2771
FAX 0968-43-2793
http://aileans.com
E-mail
ailinkan@magma.jp



ヒューマンライツ委員会の取組みを発表する守田直人委員長

このセミナーが地域共生社会の実現の一助となることを祈念し、障がいのある人もない人も地域で支え合い、安心して暮らせる山鹿市を目指して、今後も微力ながら尽力していきたいと思えます。



ご家族の病気やヘルパーの経験を通して講演される橋本眞奈美准教授

発を深めるためのものです。
九州看護福祉大学(看護福祉学部社会福祉学科) 橋本眞奈美准教授による障がい児者の権利擁護と自立支援の講演。シンポジウムでは愛隣館ヒューマンライツ委員会、鹿本地域療育センター、成年後見センター各事業所の取組みを紹介。熊本県難病相談支援センターの活動報告の三部構成。
七十名を超える市民、車いす利用者、福祉関係者、難病当事者・家族団体など多くの参加がありました。想定以上の来場者数で、市民の障がいに対する関心の高さを実感しました。

山鹿市障害者支援
「地域福祉セミナー」
山鹿市基幹相談支援センターデリア
相談支援専門員 松永 清孝
令和三年十二月十五日(水)、温泉プラザ山鹿に於いて、山鹿市地域福祉セミナーを開催しました。このセミナーは、山鹿市障害者地域生活支援事業の一環として、障がいのある方に対する理解と人権啓



館長 三浦 貴子

2022年の幕が閉じました。愛隣館の番地と同じ2022に、何か縁起の良さを感じている私たちです。今年もどうぞよろしくお願ひします。十二月はクリスマスのディナーを利用者スタッフ共にとれるか、皆で悩み、話し合って実現しました。本紙一面の地域福祉セミナーへのご参加にも心より感謝申し上げます。そして、年末からコロナ第6波の来る前にと、居室までの面会をかなえ、お天気の三が日には利用者の方々とご家族の笑顔を見るのが出来ました。

一月六日からは再び面会場所の制限をかける状況となりましたので、つかの間の平和な日常を味わえて良かったです。本年も県のステージに合わせて、制約と制約解除を繰り返しながら感染リスクのマネジメントにあたりたいと思います。情報を共有し、利用者の方々にご理解と協力を頂きながら対策を進めていきます。

そんな中、半年以上かけ事務局として準備を進めてきた、「生の芸術 アールブリュット展覧会VOLUME 7」を一月二十五日から県立美術館にて開催いたします。拡大しているコロナがとても心配ですが、1時間に3回自動で空気が入れ替わるなど感染対策強化の熊本県立美術館、1階展示室は1

000㎡の広さです。25名の出展作家の作品約300点が並びます。全員の製作する姿と、やり取りをした二日間動画を準備して、心ざわめき心温まる展覧会になりそうです。出展施設のアートグッズやプリカの販売も初の試みです。どんな時も描き続ける作家の皆さんの、唯一無二の表現に触れて頂ければと願うばかりです。展示の様子は一月一日からホームページ上にて配信します。

コロナ禍の2年、施設では様々な困難を迎えました。今年も1つひとつ乗り越えて、前へ行くことができるよう力を合わせたいと思います。

● 補助金交付の選定を受けました ●

国土交通省自動車局より、令和三年度自動車事故対策費補助金(約279万円)交付の選定通知を受けました。この補助金は、自動車の運行の安全の確保に関する事業、自動車事故による被害者の保護に関する事業等を助成することにより、自動車事故の発生の防止に資するとともに、被害者の保護を増進することを目的とされています。リハビリ機器・チャルトテーブルと介護機器・床走行リフトを申請し導入致しました。心より感謝申し上げます。

● 労働安全衛生委員会 ●

- ① 入居棟二号館のラウンジ(スタッフルーム兼用)の寒さ対策として、中庭に面する窓を全面二重サッシへ工事施工しました。
- ② 職員駐車場へ砂利を入れ整備しました。
- ③ 西側道路の街路灯が壊れていたため新品を設

置き、夜間における出入口の安全を確保しました。

★ 新しい仲間 ★



入所 野中 翠

十二月に入所しました野中翠です。鹿北町出身で現在二十五歳です。

小学生の頃からてんかんの発作を繰り返す様になり、地元はもとより遠方の病院や施設に出かけ多くの皆様方にお世話になってきました。愛隣館の先生方にも小学生の頃より色々とお話、アドバイスをしてもらいました。

将来地元の施設に入所を希望して申し込み、この度入所が決まりました。私たちもひと安心しているところです。娘には、施設の職員さんや入居者の皆様と仲良くしてもらい楽しく暮らしてもらいたいと思います。皆様、娘を宜しくお願ひします。

(代文：父)



入所 西田 奈津子

十二月十四日に入所した西田奈津子です。出身は福岡県みやま市。山鹿に来て約二十年。事務仕事を長年やってきましたが、多発性硬化症の症状が酷く

なりはじめ愛隣倶楽部の方を利用し、約十一年近くお世話になっておりました。

祖母の年齢や本人の体調などを配慮し入所することになり、職員さんも知っている方々ばかりで、本人も家族も安心しております。

対話は難しい部分もあるかと思いますが、皆さんとたくさん接し、愛隣館での生活も楽しんで欲しいと思います。

(代文：娘・松岡 妃里)

新人職員紹介

ぴあハウス世話人



田代 安子

ぴあハウスで厨房世話人として働いています。施設で働くのは初めての事で、馴染めるか不安がいっぱいでしたが、職員の方、周りの方に助けていただきながら、何とか日々働いています。

まだまだ未熟で至らない事も多いと思いますが、利用者の方に楽しく穏やかに期待に応えられる様に謙虚さを忘れずに頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



理学療法士

平野 沙織

六月末より入居者のリハビリに取り組ませていただいております。今まで総合病院やデイケア等に勤め、幅広い分野のリハビリに携わってきました。長女が小学校に入学することもあり、主人の地元である山鹿に引っ越してきました。

障害者施設は初めてですが入居者、職員の方々が優しく教えてくださいます。運動やコミュニケーションを通して、入居の方たちが安心して楽しい生活を送れるよう、思いに寄り添い、頑張っていけたらと思います。至らないことも多々ありますが皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

愛隣倶楽部



池田 美佐

八月より愛隣倶楽部でお世話になっている池田と申します。

今まで、福祉施設での経験はありますが、介護の仕事は初めてで、わからない事はばかりでした。最初は不安もありましたが、周りの方々に助けていただきながら少しずつ仕事にも慣れてきました。

まだ至らない事も多く、ご迷惑をお掛けする事があると思いますが、皆さんのお役に立てるよう一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。

日帰り旅行

ケア課

清水 誠一郎

二〇一九年から新型コロナウイルスの流行により愛隣館でも多方面に影響がありました。日中活動においても制限をせざる負えない状況になり、特に外部との接触のある活動、外出行事の計画が出来なくなりました。

その中でも年一回の日帰り旅行、これは利用者の皆様にとって一番の楽しみな行事でした。どうか出来ないものかと思案しましたが、コロナウイルスの感染の勢いが衰えることが無く約二年間活動を制限されてしまいました。

最近になり少しずつですが、ワクチン接種の効果が見れ感染者数が減少傾向になりました。それからですが少しずつ行事計画を行えるようになり、週一回の音楽クラブを再開し、もちろん感染予防対策も行い活動をしました。

そして感染者の減少とともに日帰り旅行(半日)の行事計画を行える事となりました。流石に皆さん楽しみにされていた行事です。近場での計画になりましたが、多数の参加希望がありました。阿蘇方面(新阿蘇大橋・熊本城・菊池溪谷・山鹿市内の散策を楽しんだ後、道の駅などで面白い物を楽しむなど楽しい時間を過ごされました。ようやく行われた外出行事に参加された方たちには、笑顔が沢山ありました。



入居者「初詣」

ケア課チーフ 河村 智美

新型コロナウイルス感染症の不安を抱え迎えた二度目の正月、幸いにも愛隣館では感染者が出る事なく迎えられた事を嬉しく思います。

今年も昨年同様、感染対策を行い、一日(土)、一日(日)の二日間で二十三名の利用者の方と彦根宮(下宮神社)に初詣に出かけました。



今年一年、愛隣館の皆様にとって幸多き年になりますように。

スーパームーンみかん狩り

児童発達支援管理責任者

新居 礼美

十二月四日(土)、児童通所支援事業所スーパームーンみかん狩りを開催しました。児童、保護者、スタッフ総勢約六十五名の参加があり、賑やかで、とても温かい雰囲気でした。交流会では、三浦館長の挨拶から始まり、普段療育で行っている子どもたちの自己紹介や、参加者全員でラーメン体操を体験してもらいました。

その後、愛隣農園に場所を移し、理事長や館長に

みかんの採り方を教えて頂きお天気にも恵まれた中みかん狩りを行いました。二回目の開催という事もあり、子どもたちのハサミの使い方は上手になり特に美味しいみかんを選んで採っていました。初めての子も保護者も楽しみながら「こんな美味しいみかんは初めて食べた」等感想を言い合い、自分たちで採ったみかんは、より一層美味しかったようです。今後も児童、保護者、スタッフとの交流がより深まる楽しい企画を計画したいと思います。



寒さを忘れ、たわわに実ったみかんを楽しみながら収穫する参加者。

クリスマスディナー

十二月二十四日(金)、コロナ感染予防対策の徹底等を、職員間で何度もなんども検討。企画・準備を重ね、クリスマスディナーを開催することができました。

入居者の井上優城さんの乾杯の音頭でディナーがスタート。食生活課手作りの豪華な馳走を美味しくいただきました。お腹もいっぱいになったところで、トナカイに扮した職員がソリに見立てた台車を引っ張りサンタが登場すると、思わぬサプライズに館内は大盛り上がり。

最後に、空くじなし大抽選会。特賞はユニクロの

五千円の商品券で、自分の名前が読み上げられると満面の笑みで商品を受け取られていました。

みんなで乗り切ったコロナ禍二年目。2021年最後のイベントを入居者と職員が一緒に楽しむことができたことを心から感謝します。



お知らせ

◆ アールブリュット展覧会 Vol. 7
開催日時：令和4年1月25日(火)～2月6日(日)
時間：9：30～17：15(入館は16：45まで)
1月31日は休館日
会場：熊本県立美術館 第一展示室

◆ バレンタイン家族報告会について

昨年度は新型コロナウイルス感染予防のため開催を中止し書面による報告でしたが、今年度は二月下旬～三月開催を予定しています。しかし感染状況によっては延期または中止となります。

◆ クリスマスプレゼントありがとう♪

埼玉県川口市の川口板金(株)様と山崎製パン(株)様よりケーキ・パンをたくさんいただきました。また、明治安田生命様よりスーパームーンの子ども達へお菓子のプレゼントがありました。